



7月1日は動物園の41回目の誕生日です  
さまざまな催しを企画中。お楽しみに

# ASAHIYAMA ZOO

発行所  
旭川市旭山動物園  
動物図書館  
☎ 36-1104

## 6月28日 2年ぶり大型新施設 オオカミの森 登場

「チンパンジーの森」オープン以来、2年ぶりに大型の新施設が誕生します。今回の施設の主役はシンリンオオカミです。「オオカミの森」に一步足を踏み入ると...百数十年前、エゾオオカミが北の大地を駆けめぐっていた頃へタイムトリップ。そしてその頃の北海道の自然を感じられることでしょう。

昔、北海道の生態系の頂点にたったエゾオオカミですが、私たちヒトが彼らを絶滅に追いやってしまいました。オオカミのいなくなった今、オオカミが捕食していたエゾシカが増えて食害が起き、生態系は乱れています。私たちが今何をすべきなのか、また、「自然」とは何なのか、見直すきっかけになるよう願いが...



オオカミの放飼場の向こう側にはエゾシカの姿がみられます。野生のオオカミは主に、エゾシカをエサとしていました。

1階から2階に上がるトンネルの中には、元旭山動物園飼育係・絵本作家のあべ弘土さんが描いたオオカミの壁画が登場します。また、ここには「あっ」と驚く視点からの観察ポイントが...



入口から長い通路を抜けると...。左に高さ約8mの山と、その奥から右手にかけて溪流が流れています。水浴びするオオカミや生い茂った笹やぶの中から突然オオカミが現れるかも?!

オオカミの森中央に位置する山。旭川市街をながめ、オオカミが遠吠えする姿が見られるのは、いつ頃になるのでしょうか。



オオカミの遠吠えは、自分の縄張りを主張したり、仲間と交信するためだと言われています。オオカミたちがこの新しい施設を気に入り、オオカミらしい姿を見られる日をお楽しみに。

見上げると、木々が生い茂る中を、オオカミが駆けめぐることでしょう



オオカミのいる山のふもとにたどりつきます

両脇にある小窓をのぞきながら通路を抜けると...



園内の小獣舎前から坂を登っていくと、右にオオカミの森入口があります。

## オオカミの森の主たち、まずは3頭でスタート

旭川の風土になれるため、オープンの数ヶ月前から、オオカミたちはやってきていました。カナダからやってきた黒毛の「ケン」と「メリー」、そして秋田の動物園からやってきた4才になるベージュの毛色のメス「クリス」です。旭山動物園では将来、「ケン」と「クリス」の間に子どもがうまれることを期待しています。この2頭が繁殖すると、これまで国内になかった血統ができるのです。日本の動物園の中で、「シンリンオオカミ」の種を維持していくために、大きな期待がかかっています。

カナダの動物園からやってきました  
2007年5月1日生まれのきょうだいです

秋田の大森山動物園からやってきました



ケン  
オス 1才



メリー  
メス 1才



クリス  
メス 4才

いつか、ケンとクリスのペアが繁殖し、大きな群れ(パック)になることを願い...

オオカミは厳格な順位のある群れ(パック)をつくり生活します。通常パックの中では最上位のオスとメスだけが繁殖します。つまり最上位のメスだけに発情がきて子どもを作るのです。他の個体は子育てに協力します。

